

平成25年度貝毒プランクトン出現状況(No.10)

通報番号 (MG) - (25) - (17)

通報月日 平成25年7月1日

機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	水深 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備 考 (他 <i>Dinophysis</i> 属の内訳)
					<i>D. fortii</i>	<i>D. acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.	
荻浜内湾	7/1	0	19.5	31.67	0	0	30	0	<i>D. rotundata</i> :10, <i>D. infundibulus</i> :20
		5	18.7	31.72	70	80	0	0	
		10	14.5	33.05	0	0	0	0	
荻浜沖合	7/1	0	19.4	31.76	10	20	20	0	<i>D. infundibulus</i> :20
		5	19.1	31.93	0	70	10	0	<i>D. rudgei</i> :10
		10	16.3	32.77	30	130	10	0	<i>D. rudgei</i> :10
		15	13.8	33.12	150	270	60	10	<i>D. tripos</i> :10, <i>D. rotundata</i> :50
塚浜	7/1	0	16.3	32.99	170	20	20	0	<i>D. rotundata</i> :20
		5	15.6	33.14	180	130	20	0	<i>D. infundibulus</i> :20
		10	15.4	33.43	100	0	0	0	
		15	14.5	33.18	50	0	10	0	<i>D. rotundata</i> :10
		20	12.7	33.28	30	10	0	0	
		B-1	11.8	33.52	10	10	0	0	

※B-1は26 m

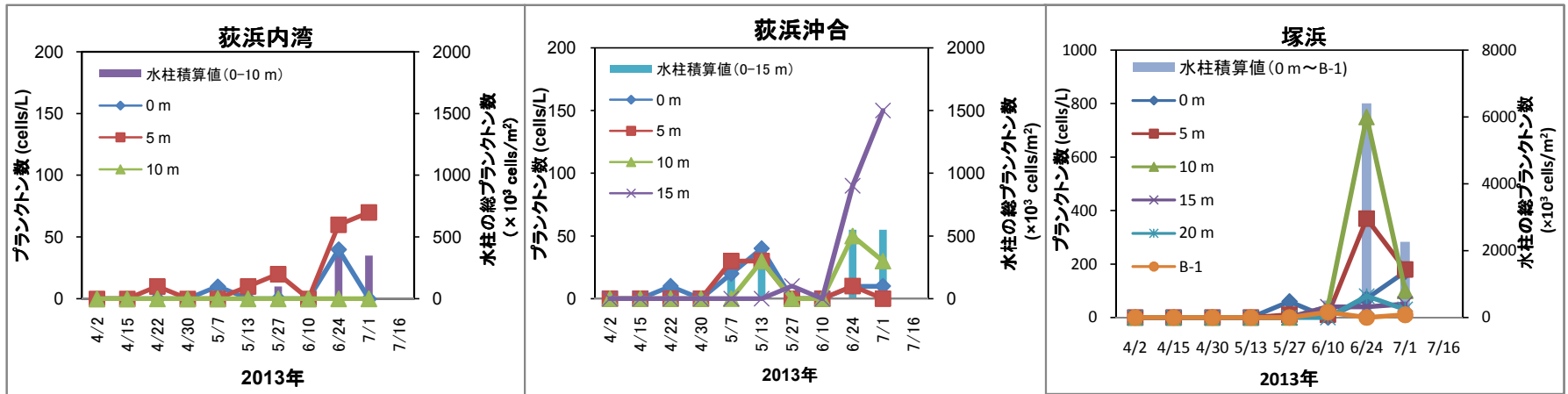
・下痢性貝毒プランクトンの*D. fortii*は、全調査点で見られ、特に荻浜内湾5 m及び荻浜沖合15 mで顕著に増加しています。一方、塚浜では前回調査(6月24日)時より減少しました。また、*D. acuminata*も全調査点で見られ、荻浜沖合で増加傾向にあります。

・麻痺性貝毒プランクトンである*Alexandrium* spp. は、全ての調査点で見られませんでした。

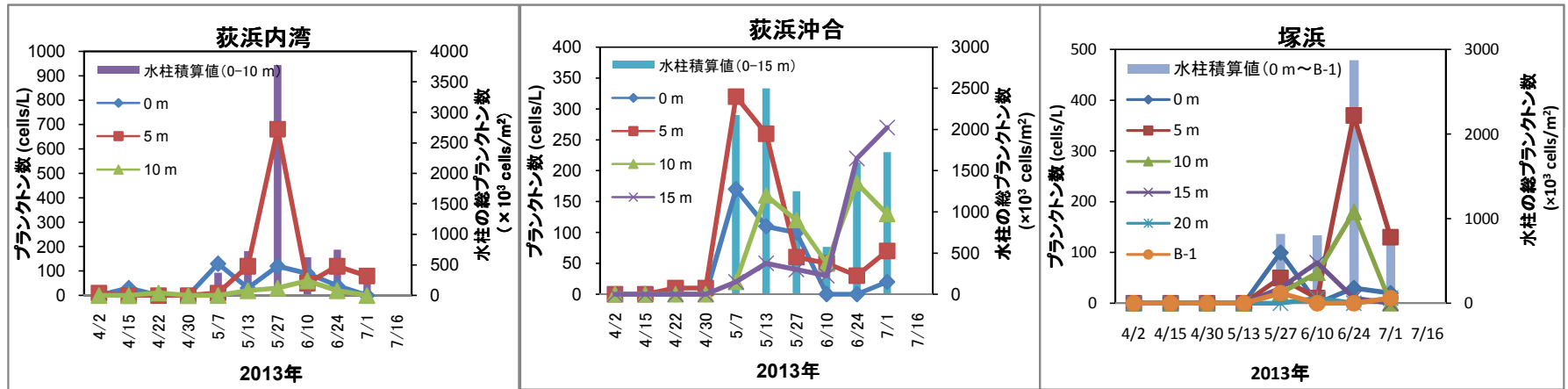
・荻浜の表面水温は、前回の調査(6月24日)時より、内湾で0.7°C、沖合で1.5°C下降しました。また、塚浜の表面水温は、前回の調査(6月24日)時より0.9°C下降しました。

※次回調査は、7月16日を予定しています。

担当:環境資源部 増田・太田
TEL:0225-24-0139,FAX:0225-97-3444



Figs. 1 萩浜内湾, 萩浜沖合及び塚浜における*D. fortii*の細胞数密度の変化



Figs. 2 萩浜内湾, 萩浜沖合及び塚浜における*D. acuminata*の細胞数密度の変化